

予算・決算委員会（平成28年度補正予算審査）

戸井 肇

質 地域インターネット維持管理経費のケーブル架け替え費用は年度当初に予算化できなかったのか。

答 電柱所有者の事業方針で更新する電柱の対象を決定することから、予算作成時は対象数がわからず、年度当初での予算化は難しい。

質 通信事業者専用線への切り替えは。 **答** 比較検討したが、現状の方が安価であった。

千田 文孝

地域介護・福祉空間整備等施設整備補助金において、設置が義務付けられているスプリンクラーは、今回で未設置の1施設が完了します。

また、防犯カメラも併せて設置しましたが、防犯カメラの設置義務はなく、市は設置状況を把握していないため、今後は把握と補助金制度を他事業主にも推奨するよう提案しました。

井野 正臣

登別中学校便所洋式化事業費について、夏休み中に工事し、2階便所は2学期から使用できる予定ですが、1階便所は完成できない可能性があるため仮便所を設置します。

また、洋式化されていない幌別中学校は、平成32年の耐震化工事に併せて洋式化されます。

有益だった「対話」を学ぶ合同研修会

平成28年度白老町議会・登別市議会議員研修会

毎年恒例の白老町議会との議員研修会を昨年11月17日に開催しました。

初めに、青森中央学院大学より佐藤淳准教授を講師にお招きし、「対話で創る議会からの地方創生」議会改革第2ステージに向けて」と題し、講演いただきました。

その後、「白老・登別への誘客大作戦！〜2020年 国立アイヌ民族博物館オープンに向けて〜」をテーマに、ワールド・カフェの実践を行いました。

登別市議会では、議会フォーラムの開催などを通じて、市民との対話をより重視した活動をしています。



今回、住民との「会話」と「対話」、「議論」の違いを理解し、対話の重要性を再認識できたことは非常に有益でした。

また、対話手法の一つである「ワールド・カフェ」のノウハウも学習しましたので、今後の意見交換などでそれらを活用することによって、市民との協働をより一層深めていければと思います。

(松山)

予算・決算委員会（平成27年度決算審査）

平成28年10月25日から27日の3日間の日程で予算・決算委員会を開催し、平成27年度の各会計決算に係る議案すべてを原案のとおり認定しました。

議会は、前年度の予算が適正に執行されたかを審査するとともに、その行政効果や経済効果を審査し、市民の代弁者として執行状況を評価します。

決算の審査結果は、後年度の予算編成や行財政運営の改善に役立てるため、極めて重要な意義があります。

41〜42ページに各委員の質疑の内容の一部を掲載しています。

